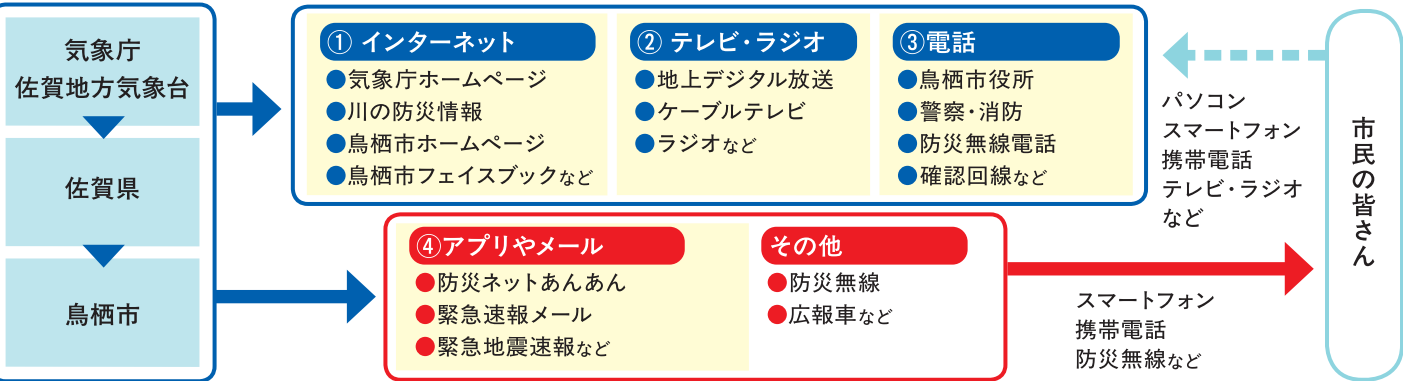


避難について

情報伝達の経路



防災・気象情報の入手先

① インターネット

気象庁
天気予報や危険度の高まりを表す情報などをリアルタイムで配信しています。 <http://www.jma.go.jp>

● 雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）
1時間先までのくわしい雨の予測を確認できます。

● 浸水キキクル
浸水害発生危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。

● 土砂キキクル
土砂災害の危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。

● 洪水キキクル
洪水害発生危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。

国土交通省
● 川の防災情報
水位観測所や雨量観測所の状況を見ることができます。 <http://www.river.go.jp>

② テレビ

地上デジタル放送（データ放送）
地上デジタル放送では、リモコンの「d」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」を配信しています。
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

③ 電話

防災無線電話確認回線
防災無線からの放送内容が聴き取れなかった場合に、放送内容を電話で確認できます。
0942-85-3860（電話料金は自己負担となります）

④ アプリ

防災ネットあんあん <http://esam.jp>
市民の皆さんの防災対策などに役立てていただくため、あらかじめ登録されたスマートフォンに、避難指示等の発令情報や気象情報などをアプリで配信しています。登録は無料です。（別途通信料がかかります）

NTT災害用伝言ダイヤル 災害時の家族などへの連絡にご利用ください。

171 にダイヤルし、音声ガイドにしたがう

録音の場合 ①

再生の場合 ②

被災地の方はご自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）0942-〇〇-〇〇〇〇

伝言を入れる（30秒以内）

伝言を聞く

※伝言の保存期間は録音してから2日（48時間）です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

モバイル用

詳しくは <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

防災気象情報と住民がとるべき行動

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	警戒レベルごとの住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

避難の考え方

立退き避難（水平避難）

● 2階の床面（3m）以上の浸水が予想される場合
● 土砂災害による家屋倒壊などのおそれがある場合

安全な場所まで立退き避難

夜間に大雨が予想される場合は明るい時間帯での予防的避難を心がけてください。

屋内安全確保（垂直避難）

● 2階の床面（3m）未満の浸水が予想される場合
● 屋外への避難がかえって危険な場合

自宅内の高い場所へ避難

がけや山から離れた部屋へ避難

避難のポイント

避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

一人暮らしのお年寄りなどには気配りを

近所の一人暮らしのお年寄りや病気の方がいる場合は、声をかけ合って一緒に避難しましょう。

災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。

車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。